

氷川中の風

文責:校長

中 島 綱 紀

NO. 4

中3です。これからの生き方を考える年です。

一学期が終わりました。ついこの前に3年生に進級した43名はあと8か月で義務教育を修了します。現時点では全員が高等学校等への進学を希望しています。7月1日には近隣の高等学校等と自衛隊の先生方を招いて説明会を持ちました。生徒たちは真剣に説明を聞きながら、憧れの進学先でエンジョイしている自分の姿を想像していました。これから親子の話し合いを何度も重ねて、入試の季節へ向かいます。親子で話し合っていくと意見の食い違いもあるでしょうが、それも大切な親子の儀式です。43名の氷川中学生はもうすぐ社会へ旅立ちます。



ICT(アイ・シー・ティ)教育って？

アイスティではありません。コンピューター等の機器を生徒の学力向上のために活用する教育です。氷川町からたくさんの支援をいただいて町内の5校で取り組んでいます。どこの市町よりも進んだ未来志向の授業をやっています。これからもっともっとICT機器を活用した授業が増えてきます。生徒たちは私たち大人の想像を超える能力と可能性を発揮し、機器を使いこなしてグローバルな世界を生きていくのでしょうか。スマートフォンさえ使いこなせないでいる校長は、「置いていかないで。」と現代っ子たちにそっとお願ひし、田舎でデジタル生活を送るのでしょうか。



歴史と花の町、龍峯

梅雨の晴れ間に自転車で龍峯町の通学路点検に行きました。昼下がりの町を散策していると、あちこちの家の庭や道路の脇のたくさんの花たちが迎えてくれました。ところで、本校は氷川町と八代市の組合立の中学校です。今年も龍峯町から10人の生徒が通学しています。小学校を卒業するとき



にたくさんの仲間と離れても本校を選んでくれた生徒たちは毎朝元気に花の町からやってきます。季節の花たちが道端で10人を見守ってくれているのでしょうか。花たちが咲いているのは、氷川町と龍峯町をつなぐ古道「薩摩街道」です。

